

## 沖縄北部ダム群

## 沖縄北部ダム群を活用した地域活性化の取組

- 実施主体：東村ふるさと振興（株）、NPO 東村観光推進協議会など
- ダム活用箇所：ダム堤体、ダム湖、監査廊、各種施設見学
- ダム所在地：沖縄県国頭郡東村ほか
- ダム管理者：沖縄総合事務局 開発建設部、北部ダム統合管理事務所
- ダム完成年度：福地ダム：昭和 49 年、新川ダム：昭和 52 年  
安波ダム：昭和 58 年、普久川ダム：昭和 58 年、辺野喜ダム：昭和 63 年  
漢那ダム：平成 5 年、羽地ダム：平成 17 年、大保ダム：平成 23 年  
金武ダム：平成 26 年
- ダム形態：重力式ダム、ロックフィルダム等



沖縄北部ダム群位置図

### ■取り組みのポイント

- ①ダム施設を観光資源として活用した管理者メニュー及びダム湖面等ダムエリア内で NPO 等が実施するメニューを併せ、沖縄北部ダムツーリズムと称し、北部水源地の活性化を支援している。
- ②継続的なダムツアーを実施している中、ダム周辺が世界自然遺産登録となっているポテンシャルや海外インバウンドの需要、新規テーマパーク(ジャングリア沖縄)の開業など今後も発展性が高い。

### ■取り組みの概要

- ・平成 26 年 10 月に日本旅行業協会（JATA）沖縄支部メンバーは沖縄北部ダム群と水源地域の施設「やんばる学びの森」（国頭村）の現場視察を行い、その後の意見交換会において、ダムが有する観光資源としての有用性や、誘客に繋げるための課題などが協議された。
- ・JATA 加盟の旅行会社からダムの施設見学を取り入れた 4 つの企画で日帰りバスツアーが発売され、中高年層を中心に多くの集客を集めた。
- ・ダムツアーは継続的に実施しているほか、近年は韓国を中心としたインバウンド需要にも力を入れている。



意見交換会状況



漢那ダム資料館案内状況



民間バスツアー募集チラシ



漢那ダムで創出した湿地環境での学習会



ダム湖専用遊覧船ゴンミキ号（福地ダム）



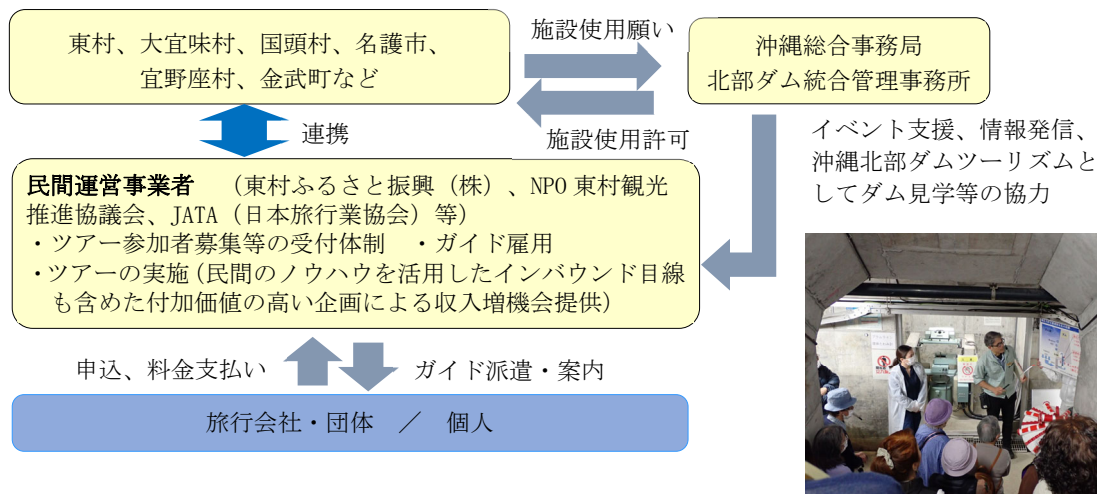
噴水を中心に賑わう湖面（福地ダム）

## ■人・組織

- ・東村ふるさと振興（株）：福地ダムを活用した滞在型観光振興事業を企画・運営。
- ・NPO 東村観光推進協議会：自然体験エコツーリズムなど自然環境を活かした体験・交流型観光の企画・運営。
- ・東村役場：自然観察船や案内所などの施設整備に加え、指定管理者である東村ふるさと振興（株）に委託管理費等を支援。ダムツアーをはじめ様々な支援を実施。
- ・沖縄総合事務局、北部ダム統合管理事務所：ダム周辺のハード整備やダム見学イベント等の積極的な協力。

## ■しくみ

### 〔事業スキーム〕



漢那ダム旅行者ツアー  
（ダム内部見学）

## ■地域連携方策

- ・ダム施設を観光資源として活用した管理者メニュー及びダム湖面等ダムエリア内で NPO 等が実施するメニューを沖縄北部ダムツーリズムと称し、北部水源地の活性化を支援している。



## ■取り組みの成果

- ・事業者と自治体、ダム管理者が協力した長年の運営実績があるほか、近年は韓国を中心としたインバウンド観光やダム周辺の世界自然遺産という地域資源も活用した先進的な取り組みが実施されている。
- ・ダム見学と併せて、近傍の「道の駅」の利用を促すなど水源地域の活性化にも繋げている。